

授業参観・「子どもの未来を語る会」・学年懇談会 ご出席ありがとうございました。

8日(金)には、授業参観等を開催しましたところ、多くの保護者の皆様にご出席いただき、大変嬉しくおりました。ありがとうございました。

今回の授業参観では、それぞれの学級の子どもたちの実態を踏まえた人権に係る学習内容を取り上げ、参観していただきました。参観していただいていたでしょうか。学年懇談会では、学校での子どもたちの様子や参観いただいた授業のねらいなどをお伝えさせていただきました。ご家庭でも、授業の内容について、今一度、お子さんと話をしていただきますよう、よろしくお願ひします。



参観後は、PTA研修部主催の「子どもの未来を語る会」を開催しました。「子どもの未来を語る会」は、子どもたちが、健やかに成長し、毎日を明るく生き生きと過ごすことができることを願い、保護者と教職員、また地域の方が、ともに手を取り合い、それぞれの立場で子どもの日常生活や教育問題について語り合い、考え合う場として長年続いてきている取組です。

今回は、助産師の林みち子さん(は～ちゃん)を講師に迎え、「生きているだけで百点満点～幸せを伝えよう～」を演題に、親として子どもたちにどのように向き合っていけばよいか、さらには、人としてどのように生きていけばよいかといったことをお話しいただきました。林さんの愛情いっぱいの「ことばのシャワー」に、「気持ちが楽になった」「元気がもたらえた」「子どもをぎゅっと抱きしめたくなった」そんな思いを持たれた方も多かったのではないかと思います。お話を聞きながら、子どもたちにも、日々、豊かな気持ちで過ごしてほしいなと思ひました。そのために、まずは「ありがとう」から実践していこうと思ひます。



研修部のみなさん、素敵な企画、ありがとうございました。

3年生 交通安全教室(11/5)

山畑区に営業所がある「株式会社 日硝ハイウエー」さんには毎年来校いただき、トラックやトレーラを用いた「交通安全教室」を開催していただいています。

当日は、一人一人、トラックの運転席に乗せてもらい、運転席からは見えない「死角」があることを確かめました。その後、トラックが右折や左折をする際には、「内輪差」があるので、トラックの荷台に近づくのは危険であることを教えてもらいました。

その後、みんなで大型トラックに綱引きの綱をつけて、みんなでひっぱりました。最初は、半分の人数で引っ張りましたが、全く動きませんでした。でも、全員で引っ張ると、大きなトラックが動いたので、みんな大喜びでした。

その後は、荷台に乗せてもらい、荷物が動かないようにする仕組みを教えてもらったり、さらに大きなトラックから荷物を載せる「トレーラ」の連結を外すところを見せてもらったりしました。教室では、子どもたちから、仕事のことやトラックのこと、また仕事をしていて嬉しいことなどを質問し、一つ一つ子どもたちに分かるように答えていただきました。

子どもたちには、今回、学んだことを活かし、交通ルールを守って、安全に過ごしてほしいと思ひます。

「日硝ハイウエー」さんには、毎年、チューリップの球根も寄贈いただいております。様々な形で、学校を支援していただいております。大変ありがとうございます。



食育により、食に対する意識が高まってきています。～残食量が減ってきています～

2005年に「食育基本法」が制定され、「食」が教育として位置づけられました。

以前もお知らせしたように、本年度は、全ての学年が、学期に1回、栄養教諭の赤澤先生に来校いただき、それぞれの発達段階に応じた「食に関する授業」を行っていただいています。6日(木)には、4年生が「三重の食べ物を知ろう」というテーマで、伊賀や三重県産のおいしい食べ物の学習をしました。

そうした食育の成果もあり、4月には4.0%だった給食の残食率が、10月は2.5%となりました。体調や嗜好、食べられる量など個人差はあるので、残食0%だけをめざしているわけではありませんが、食の大切さを理解し、しっかり食べてほしいとは思ひます。

